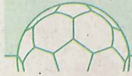


鳥栖・三神



飛沫防止シート 役立てて



一木徹也教育長に飛沫防止シートを贈る中原中2年生
 〓みやき町中原庁舎

町へ寄贈 中原中生徒、絵で彩り

新型コロナウイルス

支援の輪

みやき町

みやき町の
 中原中(石橋

節二校長)2年生が21日、
 町に飛沫防止シート14枚

を寄贈した。57人が14グループに分かれ、10月に開かれた校内の文化発表会で披露するために制作。生徒たちは「町民のために使ってほしい」と話している。

飛沫防止シートは横91センチ、縦60センチの透明のビニールシートに、生徒たちが油性ペンで絵を描いた。描いた絵は、県遺産にも認定された同町山田地区のヒマワリや大空を舞うバルーンなどカラフルなものばかり。同町のキャラクター「みやつきー」が描かれているものもある。

シートは、町が所有する木枠に取り付けて使用する予定で、町中原庁舎や町コミュニティセンター「こすもす館」など公共施設の窓口に設置する。

中原庁舎で開いた贈呈式では、生徒会長の「皆さんが一町に貢献できることがないかと考えて寄贈を決めました。町の人が元気になってもらえれば」とあいさつし、一木徹也町教育長にシートを贈呈。一木教育長は「コロナで大変な時期に、中学生が地域のことを考えていてくれることがうれしい」と感謝した。

(瀬戸健太郎)